



◆迅速検査は発熱後12～48時間以内のタイミングで受けることが望ましいです。

| | | | | | |
|---|---|---|---------|------|---|
| 検査結果 | 陽性 | インフルエンザです。 | | | |
| | 陰性 | ①インフルエンザではない。 ②検査時間が早すぎて反応が出なかった。 ③(まれに)何度検査しても陽性にならない。 | | | |
| 一般的な症状 | 潜伏期間は1～2日。まれに7日位して発症する場合があります。 飛沫感染で他の人に感染します。 悪寒を伴う急な発熱・全身倦怠感・鼻汁・咳・頭痛・嘔吐・下痢・関節痛など 熱の高さは微熱の人から高熱の人までさまざまです。 治療を行わない場合、熱は2～5日続きます。 ◆乳幼児の場合・・・けいれんの原因となることもあります。 | | | |  |
| 治療について | 症状に対する治療(対処療法)⇒安静。頭部や頸部を冷やす。水分を取るよう努めましょう。 | | | | |
| 抗インフルエンザ薬  | いずれの薬も熱の期間を1～2日短くしますが、重い合併症を完全に防ぐことはできません。発症後48時間以内に服用開始することが望ましいです。 | | | | |
| | | 剤形 | 飲み方 | 対象 | 諸注意 |
| | タミフル | 粉 または カプセル | 1日2回5日間 | 1歳以上 | 2018年から10代への使用制限は解除となります。 |
| | リレンザ | 吸入薬 | 1日2回5日間 | 5歳以上 | |
| | イナビル | 吸入薬 | 1回のみ | 5歳以上 | 失敗した場合の追加処方や他の抗ウイルス薬の追加処方 はできませんので、吸入に慣れた方にお勧めします。 |
| | ゾフルーザ | 顆粒または錠剤 | 1回のみ | 1歳以上 | 新しく出た内服薬です。1回の内服で効果が期待できます。 吸入が苦手な方やお子さんにはお勧めします。 |
| 【注意】 厚生省の通達では、タミフルの服用の有無にかかわらず、インフルエンザと診断され治療が開始されてから 少なくとも最初の2日間は異常行動による事故を防ぐため、治療中の小児・未成年者が一人にならないよう 大人の方がよく監視することが求められています。 また、使用開始後、異常行動の疑わしい症状が見られたら使用を中止し、早めに病院を受診してください。 | | | | | |
| 登園・登校・出勤許可 | インフルエンザの出席停止期間基準 『発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで』 ※どの時点を発症とするかは医師の判断とします。 | | | | |